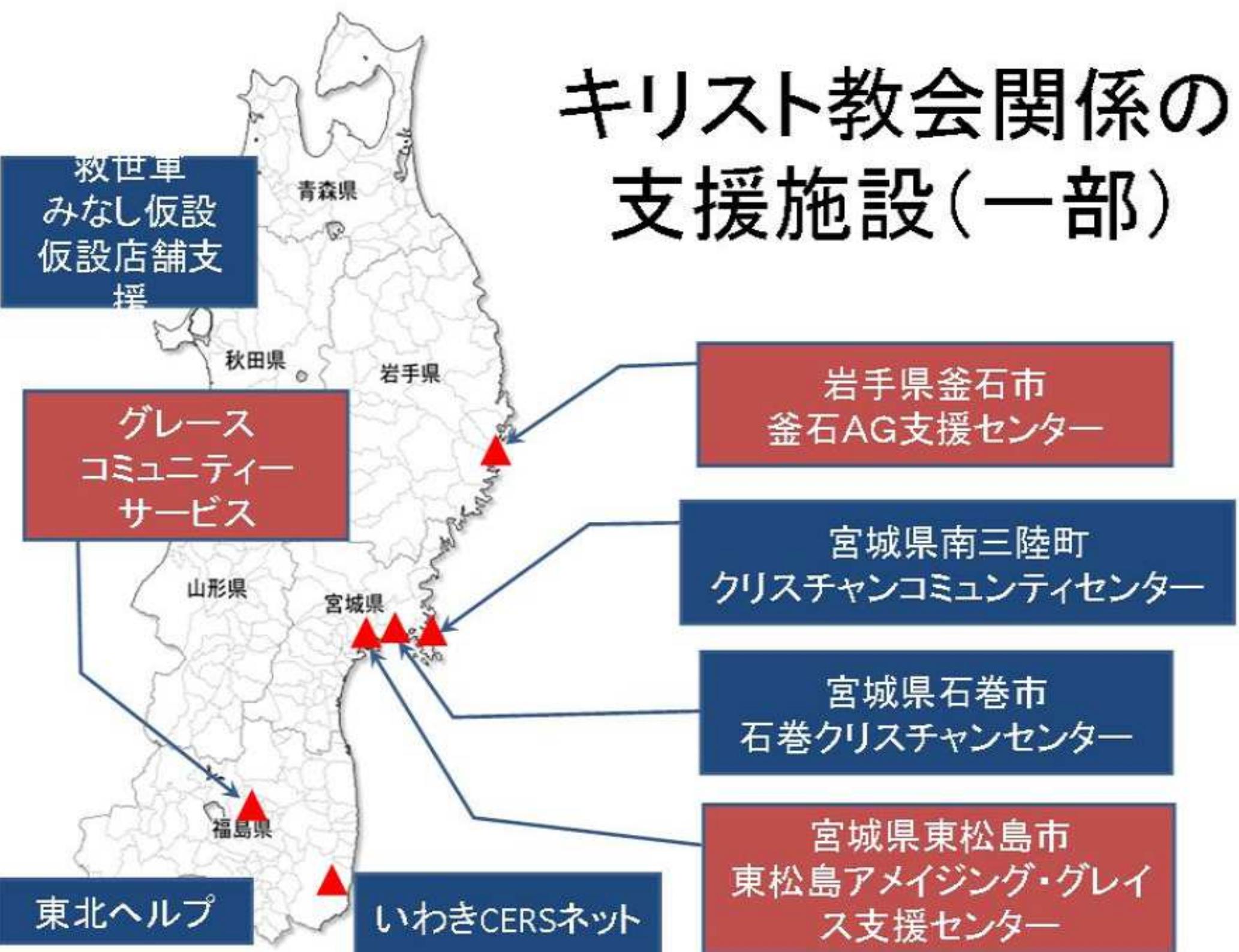


キリスト教会関係の 支援施設(一部)



東松島アメージン・グレース・センター



復興支援

- 心理的支援
 - 大切な人を失った人たちの悲しみのケア
 - 長期化する避難生活によるストレスのケア
- 物理的支援
 - 生活物資の配布
 - 生活基盤(仕事など)回復の支援
- 灵的支援
 - 福音宣教による本当の希望の提供
 - 「東北・希望の祭典」に1万人近い方が参加

1. 主イエス・キリストの愛と希望が被災されたお一人おひとりに届くように。特に心のケアを必要としている方々を継続して支えることができるよう。
2. 全国のキリスト者が、祈りと行動をもって被災地域の教会や人々に関わり続けることができるよう。特に原発事故による放射能被害の中にある福島の諸教会と連帯し、福島の人々と共に生きるという意識で励まし支え続けることができるよう。



3. 被災地域に新しく教会が生み出されていく中で、教会が無かった地域では諸教会・団体間のよき連携がなされ、教会がある地域では新しく生まれる教会と既存の教会が協力しながら、主にある一致をもって地域社会にキリストの愛を証していくことができるよう。
4. これらすべてを通して、主の御栄光が現され、キリストの福音が日本全体に拡がっていくよう。



「学び, 行動し, 願う」

東日本大震災
メモリアル礼拜

2012/3/11

何を学ぶか

- 人間の無力さ
 - どんなに高い堤防も、どんなに頑丈なビルも、人間を守ることはできない
- 人間の無知さ
 - 科学の粋を結集したはずの原子力が、人類にとって「癌」であることが分かった
- 人間のはかなさ
 - いつ終わっても良いように、今日一日を大切に、悔いのないように、輝いて生きよう！

何をするか

- 復興のために犠牲を払う
 - 30万人を超える避難者、日本国内で出る半年分に相当する廃棄物、原発、住宅、産業振興...
 - まだスタートラインに立っていない！
- 今こそ「愛」を実行するとき
 - 「愛の反対は無関心」<マザー・テレサ>
- 共に生きてくれている人たちを大切に
 - 積極的に「隣人」になる

何を願うか

- ・もちろん被災地の一日も早い復興
 - そのために私たち一人一人がなすべきこと、できることを知り、実行できるように
- ・この国の人たちが本当の幸せ、本当の希望をみつけることができるよう
 - 神と共に生きること
- ・この国が世界の模範になることができるよう
 - 科学技術でも、お金でもなく

詩篇62編9節

民よ、
どのような時にも神に信頼し
御前に心を注ぎ出せ。
神はわたしたちの避けどころ。